

様式第1-3号

平成	年度
----	----

産地生産力強化総合支援事業  
事業実施計画書

対策名 : 支援対策

対象作物名 :

---

タイプ名 :

---

市町村名

---

地区名

---

事業実施主体名

---

### 1 事業総括表

市町村名	地区名	中山間地域	事業実施主体名	受益	
				戸数	面積
南会津町		○		戸	ha

\* 「中山間地域」欄には、該当の場合「○」、非該当の場合「-」を記載する。  
 \* 「受益」の面積は、事業目標年度(3年後)の受益面積を記載する。

事業内容 (導入機械の名称)	事業費 (円)	負担区分 (円)					補助率 (除税額)
		補助金 (県助成額)	市町村	資金	その他	補助率	
	0				0	3/10	
	0						
	0						
計	0	0	0		0		

\* 「(除税額)」欄には、該当する場合のみ記載する。

### 2 事業実施地区の概要

\* 市町村や受益地区内の水田農業について、特徴的な取組を記載する。  
 \* 項目をしぼり、簡潔に記載すること。

### 3 事業推進計画

現状 問題点  ↓ 課題  事業の必要性 (実施すべき方策)  ↓ 機械導入による効果  目標	・ ・ ・  ・ ・ ・  ・ ・ ・
---	---

\* 箇条書きで記載する。  
 \* 「現状」 - 「課題」 - 「事業の必要性」は、対応するように記載する。

#### 4 推進計画における成果指標

##### (1) 成果指標

対象作物名	タイプ名	成果指標名

##### (2) 数値目標

現状	年度	1年後	年度	2年後	年度	3年後	年度
	ha		ha		ha		ha
	t		t		t		t
	%		%		%		%

- \* 成果指標は、下記「◎事業実施計画における成果指標(目標値)」より選択すること。  
 \* 対象作物が「そば」の場合は、導入品種名(会津のかおり、在来種 等)を記入すること。

#### ◎事業実施計画における成果指標(目標値)

「水稲」 成果指標(目標値) * 各タイプにおいて、下記から一項目選択すること。		
稲作経営安定強化タイプ	多様な米づくりタイプ	
	環境と共生する稲作に必要な機械	米の品質の均一化に必要な共同利用機械
(1) 直播栽培の実施面積 (受託面積を含む)	(1) 環境と共生する稲作による 水稲栽培面積(受託面積を含む)	(1) 1等米比率又は食味値
(2) 水稲作付面積に占める直播面積 の割合(受託面積を含む)	(2) 有機栽培米認定、特別栽培米 認証の延べ人数	(2) 導入機械による処理量 (色彩選別、食味測定等)  (色彩選別: 処理玄米量 食味測定: 測定試料点数 )
(3) 新規需要米の取組面積 (受託面積を含む)	(3) 水稲作付面積に占める環境と 共生する稲作の面積の割合 (受託面積を含む)	(3) 新規需要米の取組面積 (受託面積を含む)

「大豆・麦・そば」 成果指標(目標値)	
大豆・麦・そば支援タイプ	
事業対象作物の受益面積	

- \* 出荷量は、農協への出荷量、加工業者等への直接取引量、自らの加工販売量とする。

## 5 事業実施主体の概要

### (1) 概要

事業実施主体の種類	農業団体	営農集団	農業法人	認定農業者(個人)	市町村	南会津町
-----------	------	------	------	-----------	-----	------

名称		構成員	人	所在地	
----	--	-----	---	-----	--

担い手として位置づけられている地域水田農業ビジョン名	
----------------------------	--

産地強化プログラム名		作物名		プログラム産地名	
------------	--	-----	--	----------	--

\*「事業実施主体の種類」については、該当するものを「○」で囲むこと。  
 \*対象作物が「大豆・麦・そば」で、産地強化プログラムが策定されている場合は「作物名」「プログラム産地名」を記入すること。

### (2) 米の生産調整の実施状況 (\*\*「稲作経営安定強化タイプ」又は「多様な米づくりタイプ」の場合のみ記載\*\*)

	年度	生産数量目標の計	生産数量目標の面積換算値の計①	主食用等水稲作付(実績)面積の計②	差引面積① - ②
事業実施主体の数量等	事業実施前年度	t	ha	ha	ha
	事業実施年度	t	ha	ha	ha

### (3) 水田経営面積

作物	現状 (平成 年度) ( ha )						計画 (平成 年度) ( ha )					
	水稻	大豆	麦	そば	他	計	水稻	大豆	麦	そば	他	計
A 使用収益権面積						0.0						0.0
B 全作業受託面積						0.0						0.0
C 基幹作業延べ受託面積						0.0						0.0
合計 A+B+C/3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

「他」に記載の	⇒	作物名			
---------	---	-----	--	--	--

\*「基幹作業」とは、「耕起・代かき」、「田植え(播種)」、「収穫」をいう。

### (4) 共同乾燥施設の状況 (\*\* \* 乾燥調製にかかる機械を導入する場合のみ記載 \* \* \*)

施設名								
施設規模	受益面積				計画処理量			
	ha				t			
利用率	3年前		2年前		1年前		3ヶ年平均	
	処理量	利用率	処理量	利用率	処理量	利用率	処理量	利用率
	t	%	t	%	t	%	t	%

\*

(5) 事業実施主体の構成員

	役職	氏名	現 状 (平成 年度)								計 画 (平成 年度)				
			認定農業者	県環境規範の取組み	ビジョンの担い手	米の生産調整の実施	エコファーマー	特別栽培認証	有機栽培認定	新規需要米の取組み	米の生産調整実施の継続	エコファーマー	特別栽培認証	有機栽培認定	新規需要米の取組み
1						○						○			
2						○						○			
3						○						○			
4						○						○			
5															
6															
7															
8															
9															
10															
合 計			0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0

\* 構成員について、該当する項目に「○」を記載すること。  
 \* 「米の生産調整の実施」及び「米の生産調整実施の継続」欄は、「稲作経営安定強化タイプ」又は「多様な米づくりタイプ」の場合のみ記載すること。

(6) 導入予定機械の受益(稼働)面積

導入機械	機械1 (ha)						機械2 (ha)						
	作物	水稻	大豆	麦	そば	他	計	水稻	大豆	麦	そば	他	計
A 実施主体構成員の面積							0.0						0.0
(うち畑地)							0.0						0.0
B 受託面積				0.0			0.0						0.0
(うち畑地)				0.0			0.0						0.0
合計 A+B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(畑地 計)	—	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

\* 「機械1」、「機械2」欄に、導入予定の機械の名称を記載する。  
 \* 面積は、導入予定の機械の受益面積(稼働する面積)とする。  
 \* 乾燥調製等にかかる機械について、処理面積の把握が困難な場合は、処理量を記載する。

(7) 受益面積の内訳

対象作物名			現 状 (平成 年度)					計 画 (平成 年度)					
水稻・大豆・麦・そば			(受益面積の内面積)					(受益面積の内面積)					
役 職	氏 名	受益面積 (ha)	エコフアーマーによる栽培面積	特別栽培認証面積	有機栽培認定面積	直播栽培面積	新規需要米取組面積	受益面積 (ha)	エコフアーマーによる栽培面積	特別栽培認証面積	有機栽培認定面積	直播栽培面積	新規需要米取組面積
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
小 計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
受 託 分													
合 計			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

- \* 「構成員の受益面積の『小計』」は、(6)導入予定機械の受益(稼働)面積の「A実施主体構成員の面積」と一致する。
- \* 受託分の面積は、(6)導入予定機械の受益(稼働)面積の「B受託面積」と一致する。
- \* 水稻については、受益面積の内面積を記載すること。
- \* 対象作物名は、該当するものを○で囲むこと。

(8) 受託ほ場一覧

(単位 : a)

番号	氏 名	ほ 場 の 状 況		備 考	
		所 在 地	受益面積		
			現 状 (平成 年度)		計 画 (平成 年度)
	合 計		0.0	0.0	

- \* 合計受益面積は、(7)受益面積の内訳の「受託分」と一致すること。

(9)生産性の状況 (\*\*\* 大豆・麦・そばにかかる機械を導入する場合のみ記載 \*\*\*)

(単位 kg/10a)

作物	年次	年度	単収
そば	事業実施前年度(現状)		
	事業実施年度		
	2年目		
	3年目(目標)		

\* 事業対象作物が複数の場合は、主たる作物について記入すること。

(10)技術導入計画 (\*\*\* 大豆・麦・そばにかかる機械を導入する場合のみ記載 \*\*\*)  
品質・向上技術

作物	項目	技術内容	導入	【参考】作物別該当項目		
				大豆	麦	そば
	排水対策	1ha以上の連担団地				
		明きよの施工				
		弾丸暗きよの施工				
	土づくり	土壌改良資材の施用(有機物を除く)				
		土壌診断による施肥設計				
		有機物施用による地力増進				
	適正管理	ブロックローテーション等による輪作体系				
		奨励品種の作付				
		総合的な病害虫・雑草の防除				
		生育診断による追肥				
	効率的な作業体系	耕起・施肥・播種同時作業				
		乗用管理機等による管理				/
無人ヘリによる病害虫防除					/	
乾燥調製作業体系	水分調査による適期収穫					
	汎用収穫機(コンバイン)の利用			/		
	乾燥機の利用					
	複数選別機利用による品質向上				/	
生産工程・記帳	生産履歴記帳					
	農業生産工程管理手法(GAP)への取組み				/	
	環境と共生する農業への取組み					
取組み数						

\* 導入する技術には、「導入欄」に○を記入すること。ただし、事業実施年度において取り組む技術には①と記入し、以後2年目を②、3年目(目標年)を③と記入する。なお、導入する技術は、事業実施年度において最低5つ以上取り組むこと。  
\* 事業対象作物が複数の場合は、主たる作物について記入すること。  
\* 導入する技術は、事業実施年度において実施するものとする。

## 6 農業機械の導入計画

### (1) 導入機械の種類

NO	導入機械の名称	型式	能力・大きさ	数量	単価 (円)	金額 (円)	受益面積(ha)
1							
2							
3							
4							
5							
					合計	0	-

### (2) 規模決定基礎

ア 栽培・管理・収穫機械等

導入機械の名称	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
	作業幅	作業速度	作業量 (①×②÷10)	ほ場作業効率	ほ場作業量 (③×④)	全作業時間	実作業率	作業時間 (⑥×⑦)	ほ場作業量 (⑤×⑧) ha/日/台	作業期間	作業可能日数率	実作業日数 (⑩×⑪)	延べ作業面積 (⑨×⑫)
	m	km/hr	ha/hr	%	ha/hr	hr	%	hr		日間	%	日	ha

※福島県特定高性能農業機械導入計画より

イ 乾燥機、選別機等

導入機械の名称	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
	受益面積	1日当たり収穫面積	10a当たり単収	1日当たり収穫量(②×③×10)	実収穫日数	生産量(④×⑤)	1時間(回)当たり処理量 kg/hr(回)	1日当たり全作業時間	実作業率	1日当たり作業時間 (⑧×⑨)	1日当たり処理量 (⑦×⑩)	作業可能日数	処理量(⑪×⑫)
	ha	ha/日	kg/10a	kg/日	日間	t	kg/hr(回)	hr	%	hr	kg/日	日間	t

※ 導入機械毎に上表を作成すること。また、項目及び単位等について、上記で記載できない場合は、適宜記載すること(別紙記載可)。



(3) 事業実施主体における機械等の台数と利用面積

機械・施設		現 状 (平成22年度)				計 画 (平成24年度)			備 考 (既存:補助事業で導入の場合 は事業名等を記入、本事業 導入:利用規模下限面積を 記入)
		購入年	能力	台数	利用面積 (処理量)	能力	台数	利用面積 (処理量)	
既 存		年	PS	台	ha	PS	台	ha	
		年	PS	台	ha	PS	台	ha	
		年	条	台	ha	条	台	ha	
		年	条	台	ha	条	台	ha	
		年	m	台	ha	m	台	ha	
		年	石	基	ha (t)	石	基	ha (t)	
		年	石	基	ha	石	基	ha	
		年	石	基	ha	石	基	ha	
		年		台	ha		台	ha	
		年		台	ha		台	ha	
本 事 業 導 入	マニアスプレッダー					1	台	30.0 ha	
							台	ha	
							台	ha	

\* 普通型コンバインについては、「能力」欄に、刈り幅を記載する。  
 \* 乾燥調製等にかかる機械については、処理量も記載する。  
 \* 本事業導入機械が「福島県特定高性能農業機械導入計画」に記載がある場合は、備考欄に利用規模下限面積を記入する。

(4) 導入機械等の設置(保管)場所

導入機械の名称	設置(保管)場所	面積(m <sup>2</sup> )	取得時期	取得方法	備考

## 添付資料

- 1 事業実施位置図（受益地区・面積、農業機械の保管場所を明記する）
- 2 事業費積算の根拠（見積書2社以上、導入機械のカタログ等）
- 3 組織（事業実施主体等）運営に関する規約等